

第3回議会報告会開催結果

開催日程

開催日	説明班	会場	所在地	参加者数
平成26年4月21日(月)	第1班	米ノ庄公民館	久米町	18人
	第2班	嬉野宇気郷公民館	嬉野小原町	25人
	第3班	飯高保健センター	飯高町森	30人
	第4班	仁柿小学校(休校中)	飯南町上仁柿	19人
平成26年4月22日(火)	第1班	宇気郷地区市民センター	柚原町	8人
	第2班	第二公民館	垣鼻町	10人
	第3班	中原文化センター	嬉野田村町	18人
	第4班	港地区市民センター	大平尾町	7人
平成26年4月24日(木)	第1班	櫛田地区市民センター	豊原町	32人
	第2班	西黒部地区市民センター	西黒部町	22人
	第3班	第一公民館	殿町	16人
	第4班	大河内地区市民センター	大河内町	14人

議員の班構成

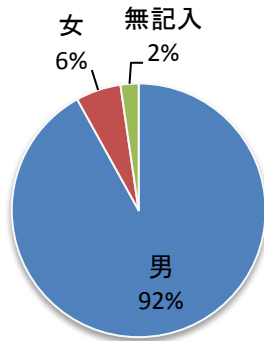
1班	○水谷 晴夫	松岡 恒雄	野呂 一男	中村 良子	田中 祐治	濱口 高志	今井 一久
2班	○山本 節	植松 泰之	中瀬古初美	大平 勇	中島 清晴	久松 倫生	松田 千代
3班	○海住 恒幸	深田 龍	堀端 脩	川口 保	大久保陽一	西村 友志	前川 幸敏
4班	○野口 正	沖 和哉	坂口 秀夫	山本 芳敬	永作 邦夫	松田 俊助	田中 力

○は各班の代表者

第3回議会報告会アンケート結果

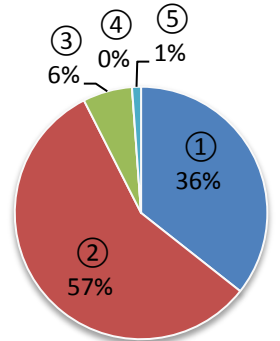
■性別

性別	人数(人)
男	160
女	10
無記入	4
合計	174



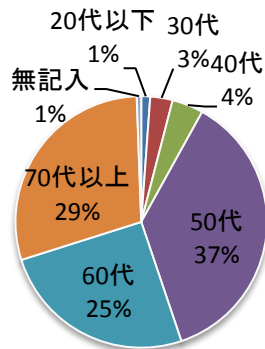
■報告内容について

設問	人数(人)
①よくわかった	62
②ある程度わかった	99
③あまりわからなかった	11
④全くわからなかった	0
⑤無記入	2
合計	174



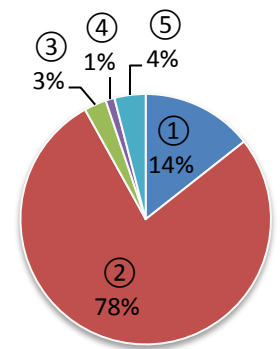
■年齢

年齢	人数(人)
20代以下	2
30代	5
40代	7
50代	64
60代	44
70代以上	51
無記入	1
合計	174



■説明時間について

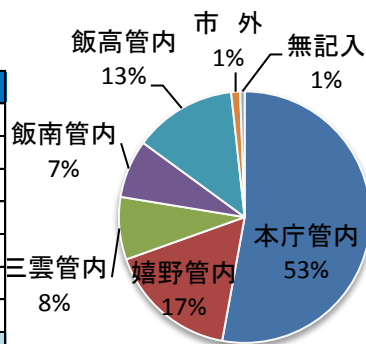
設問	人数(人)
①長かった	25
②ちょうど良かった	135
③短かった	5
④その他	2
⑤無記入	7
合計	174



【その他の意見】
読み上げているだけ
意見交換の時間不足

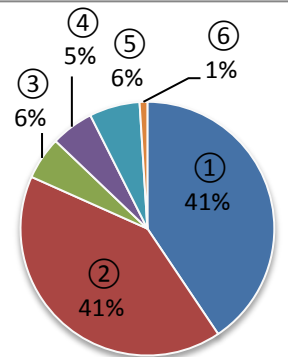
■住所

住所	人数(人)
本庁管内	92
嬉野管内	29
三雲管内	14
飯南管内	13
飯高管内	23
市外	2
無記入	1
合計	174



■周知について

設問	人数(人)
①チラシ、回覧版	82
②広報まつさか、市議会だより	83
③市議会ホームページ	11
④ケーブルテレビ	11
⑤その他	13
⑥無記入	2
合計	202



【その他の意見】
同報無線
区長会
自治会長
公民館

意見・感想

・人の参加が少ない。

・参加して非常に良かった。

・議会報告の開催について、市民との間が身近に感じられる。もう少し参加者が多くあればよいのですが、時期的なことであって参加者少なく残念です。PR不足かな？

・議会の審議内容が良く分かる意見交換会でした。

・再考しておきたい。

・もっとPRを！！せっかくの報告会がもったいないです。もっと市民に参加してもらえるといいと思います。

・今までの経過も知ることができよかった。

・嬉野宇気郷地区では人口減少がきびしく、住民の方々は不安の中、水道もなく吸引式便所で生活をしている。この後、村おこしどころか高齢化率77%という地域です。人口も134人になり、年間4～5人の減少です。花の郷づくりも進む中、嬉しい話も聞けるようになりました。移住される方も現在23軒45人が住んでみえる。そんな中、なんとか水と浄化槽の問題は良い方向へと進めていきたい思います。

・報告内容は理解できたけど、当地区にはあまり関係のない事が多くて、もっと山間部の事に力を入れてほしい。

・パワーポイントが分かりやすかった。
・この地区に関係のない事業が多い。

・折角来て頂いたのですから、地域の問題や悩み等を双方（議員と地域住民）でもっと話し合える場であった方がよいと思う。
・松阪市の重点事業等は新聞等で承知している。もっと各地域の懸案事項を取り上げてほしかった。

・議会報告を丁寧にしていただき、よく理解できました。
・議員さんは日々多用多忙の事と思いますが、飯高住民としては枝・葉を大事にする視点をもっていただきたいと切望します。

・初めて参加致しましたが、理解できました。

・議員さんとの距離が縮まってよかった。

・とても参考になりました。

・三交バスの延長を求む。松阪駅～柚原～後山～伊勢山上の路線
・宇気郷地区は75才以上の高齢化しており、週1回～2回位のデマンドバスを考えて載きたい。病院、買物など。
・住みなれた地で安心、安全に暮して行きたい、全住民が今一番望んでいる事。

・地域の状況を充分知って報告のぞんでほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化に目を向けてほしい。若い人が住めるような対策を。
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎、高齢化対策。 ・高齢者の交通手段の解決を願いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・説明が丁寧、親切、よくわかった。自由な意見交換会が特によかった。議員の皆さんの態度・発言もよかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの内容が大変うまくできており、また説明もわかりやすく、大変良かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい説明でした。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算に対する議会の受け止め方が、形式的に運営されている様に思います。事項に対して議員個々に勉強され、市の担当者に予算額を変更させる程の議会運営をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元のこと話題にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ご苦労様でした。がんばってください。
<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な報告会ではあまり出席したくないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・これからもがんばってください。
<ul style="list-style-type: none"> ・出席者が少なかったのが残念。 ・自分としては来て良かったです。 ・議員さん、がんばってください。
<ul style="list-style-type: none"> ・市議会に関する一般的な説明と質疑はあるが、各地区に関する具体的な質疑になるとはっきりしない（明確な答えが無い）。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多くなっているのに福祉の問題が少ないように思う。行政から上がってくるのが少ないのか、議会報告会は形式的だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加です。まったく市議を知らないのも良かったと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・議事のなかで質問の整理をしてほしい。進行の仕方をスムーズに。
<ul style="list-style-type: none"> ・これからも地域説明を長く続けて頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で年1回位行なってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんの言葉使いダメ。 ご報告いたします。× ご報告申し上げます。○
<ul style="list-style-type: none"> ・市発展のため、毎日ご苦労様。更なるきめ細かい議会運営を！ ・市民の声を良く聞き、市政に反映を。

<ul style="list-style-type: none">・若い人の意見が聞きたいですね。・年寄りの町にならないような施策を。
<ul style="list-style-type: none">・市議会だよりの充実を（読みにくい）。
<ul style="list-style-type: none">・議会公報より良く解かったような気がする。今後も開催よろしく。
<ul style="list-style-type: none">・特になし。
<ul style="list-style-type: none">・実際に来ている方は自治会の役員です。もっと開かれた形で。
<ul style="list-style-type: none">・中心市街地の空洞化・高齢化等による問題点（下水）がわかりました。国を挙げて取り組んでいる少子高齢化問題等の政策が必要となると思われる。このように議会報告会がなされたことは、市民にとっても良かったのではないかと。若い人の参加が少ないのがさびしかった。
<ul style="list-style-type: none">・市民の参加が少なかったのが残念でした。・市議会がみじかなものを感じ、参加して良かったです。・松阪が、住みよい良い市になっていくよう、議員さん行政共々ががんばってくれていることがわかりました。
<ul style="list-style-type: none">・今後も、市民代表としてよろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none">・それぞれの地域に合った報告が望ましいと思います。
<ul style="list-style-type: none">・今回のような議会報告会で、詳細について説明していただいてありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none">・地域で動員してでも話を聞いてもらった方が良かったと思った。有意義な話を地域の人にも聞いてもらわなければ…。
<ul style="list-style-type: none">・わかりやすく説明いただけて、議事を近くに感じられました。
<ul style="list-style-type: none">・議員の皆様からわかりやすく説明していただけるよい機会ですので、より多くの方にこの報告会を聞いていただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none">・パワーポイントを使っただけの報告はわかりやすいですが、時間がかかりすぎです。内容は素人の方（失礼）にもよくわかり玄人受けするかもしれませんが、説明は行政用語が多すぎて理解できない方もみえたのではないかと思います。たとえば予算の款などです。地域の実情を把握されてから報告会をしないと反発を招く感があります。その地域の関係ないものは項目だけさらっと流すとかしてください。
<ul style="list-style-type: none">・報告会が事務的で馴染みにくい。単に資料を棒読みしているだけ。住民の生活感覚に沿ってほしい。議員の独り善がりではないか。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 21 日（月）午後 7 時 00 分～8 時 30 分	
開催場所	米ノ庄公民館	
出席議員	今井一久、水谷晴夫、田中祐治、中村良子、野呂一男、松岡恒雄、濱口高志	
	司会進行者	中村良子
	報告者	今井一久、松岡恒雄、水谷晴夫、濱口高志、中村良子
	記録者	濱口高志
参加人数	18 人	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島清晴様

平成 26 年 4 月 22 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 水谷 晴夫

【主な質疑応答・意見等】

問 牛まつりの予算が多すぎないか。

答 委員会でも紛糾した。今後詳しくチェックしていく。

問 農業（田畑）についての報告はないのか。

答 会派の代表質問にて質疑はあったが、資料には入れていない。

問 なぜこんなに総合運動公園に予算を使うのか。

答 事業を止めると補助金を返還しなければならず、事業を進めるより予算が多くかかる。なるべく早く使えるようにする方が得策。4月20日から人工芝グラウンドが供用開始され、少年サッカー大会等松阪市民全体で使っていく。

問 敬老会事業を今後、住民協議会で行うことになるが、仕事をどんどん委託されては困る。今後どうなるのか。

答 今まで住民協議会で行っていた敬老関係の事業に今回交付される交付金を充て、今まで使っていた予算を別の事業に充てればよいので、必ずしも新たな敬老事業をしなくてもよい。

もうこれ以上事業の委託はしないとの市からの答弁もあった。

問 公民館の統廃合はあるのか。

答 聞いたことが無い。

ただし、今年から施設マネジメントにて市内の施設全般について見直しは実施する。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年4月21日(月)午後7時00分～9時00分	
開催場所	嬉野宇気郷公民館	
出席議員	山本節、久松倫生、中島清晴、大平勇、植松泰之、中瀬古初美、松田千代	
	司会進行者	久松倫生
	報告者	植松泰之、中島清晴、松田千代、大平勇、久松倫生
	記録者	松田千代
参加人数	25人	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島清晴様

平成26年4月28日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第2班

代表者 山本節

【主な質疑応答・意見等】

問 手話言語法という素晴らしいものをつくっていただいたが、やり方など書いたものを配布されるということはないか。

答 地域でやりたいというところがあれば手話のグループが、手話のやり方や、どのような時・所で必要になるのかなど啓発をしていく。さらに、市職員も手話ができるように学んでいくことから出発する。

意見 せっかくできたんだから、早くできるように要望する。

問 過疎化がひどくなり空き家が多くなってきた。親が老人ホームに入ると子どもは何もしない。どう考えるか。

答 今回説明した空き家バンクの補助金 400 万円は、過疎対策に特化した事業である。この地域もそうだが、街中でも空き家が朽ちて倒れる恐れがあり危ない。しかし、所有権の問題もあり、勝手に触れないので、どうしたら良いのかという相談を聞くことがある。これらの問題と、今回の空き家バンク補助金は違うが、議会もこのような問題は把握しているので、今後、何らかの対策を取る予定でいる。今後の動きに注目していただきたい。

問 前から話があった風力発電について、業者が上小川自治会に予定地を調査したいと言ってきた。市はこの前とは対応が変わったのか。

答 議会としてはそのような報告を受けていない。以前、この地域に話があった時、地域の反対があり市長も議会で「地元合意が必要」ということで賛成しなかった。業者が変わって今回、新たに調査にはいつてくるということで、議会でも調査・確認する。

問 平成 23 年度に住民協議会を立ち上げたが、条例化が滞っていると聞いている。一生懸命、皆でやっていて先行きどうなるのか不安である。わかりやすく知らせてほしい。

答 今議会の中では住民協議会のことは出ていなかったが、前回の議会では条例化を否決したということで、住民の方々からお話を伺った。住民協議会の存在を否定するものではなく、条例化していないから予算措置ができないというものではない。きちんとした規則の中で運用している。住民協議会に特化した条例を出すよう議会としては要望している。

意見 住民協議会の足をすくわれるようなことにならないようお願いしたい。上小川の自治会ですが、福祉会や赤十字などの負担金など、戸数割でかかっている。また、防犯灯が 30 灯あるが、32 軒の内ひとり暮らしが 10 戸あり、ほとんどの人が退職した高齢者である。電気代などの負担が多いので持ち出しもある。外灯を減らそう

かということも考えている。1軒に1灯ついていることになっている。できれば補助してほしい。

問 上小川地区は平成22年の台風の時、県道30号線が山崩れで通れないままになっている。今年は雪が多く除雪に来てくれるよう頼んだら、危ないということで断られた。地区として困っている。山間部にも目を向けて取り組んでほしいが、どうか。

答 県道30号線の件については、市長のタウンミーティングの際にも同様の要望を聞いている。継続した課題と受け止めている。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 21 日（月）午後 7 時 00 分～8 時 47 分		
開催場所	飯高保健センター		
出席議員	海住恒幸、深田龍、堀端脩、川口保、大久保陽一、西村友志、前川幸敏		
	司会進行者	西村友志	
	報告者	大久保陽一、堀端脩、前川幸敏、深田龍	
	記録者	深田龍	
参加人数	30 人		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 26 年 4 月 28 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 海住 恒幸

【主な質疑応答・意見等】

問 敬老事業について、住民協議会で運営していく上で行政の支援は。

答 交付金の活用について行政からもしっかりサポートしていくよう議会からも言わせて頂く。

問 敬老事業に反対していた。私の協議会には約 28 万円が交付されるが、それで何ができるのか。行政からの押し付けではないのか。議会で議員として我々の声を届けているのか。

答 可決する前に議会審議の中で市民の声を生かしていけるよう議会改革を進めていきたい。

問 報告内容が松阪市全地域の課題と大きいため地域の課題について報告してもらいたい。

観光施設であるスメール、山林舎、グリーンライフやまびこ、林間キャンプ場、茶倉等の費用対効果は。

答 老朽化していく建物を改修しようとする大きな費用がかかる。630ほどの施設が市内にある中で全てはまわっていかない。公共施設白書の中でどのように維持していけるか考えていく。

要望 市政は山間地に目が向いていない。せめて現状維持が可能な施策をお願いしたい。

問 テレビ愛知が平成 26 年 9 月 30 日で飯南・飯高地域で見られなくなる。議会や市からも継続して見られるように尽力して欲しいが、どうか。

答 平成 23 年 7 月のデジタル化に伴い、テレビ愛知の電波が届かない地域はケーブルテレビを利用した再放送は認めないとテレビ愛知が表明した。これを受け、地元自治会長等が、総務省に対し再放送継続の要望を行った。その結果暫定的な措置として、平成 26 年 9 月末までは見ることができるとなった。しかし、その後の再放送については、最大の努力をもってしても再放送の継続といった回答は得られていないとのことである。

なお、この場では、事実認識が乏しい状況下で正確に答えられないので、持ち帰らせていただきたい。

意見 林業振興について、報告会の内容に入っていないので、是非入れて頂きたい。

問 今年、松名瀬海岸では貝が採れないという状況を聞いた。土砂崩れによって堆積した土砂が放置されているため下流へと濁った水が流れていることが原因の一因ではないだろうか。土砂を取り除いてもらえるよう働きかけてほしい。市議会に対応できなかったら、議会として県へ要望して欲しいが、どうか。

答 時間はどうしてもかかってしまうが、市から県・国へと対応頂けるよう要望していく。森林環境税をもとに少しずつ対応していくこともできると考える。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 21 日（月）午後 7 時 00 分～8 時 40 分		
開催場所	仁柿小学校（休校中）		
出席議員	野口正、沖和哉、坂口秀夫、山本芳敬、永作邦夫、松田俊助、田中力		
	司会進行者	松田俊助	
	報告者	坂口秀夫、山本芳敬	
	記録者	坂口秀夫	
参加人数	19 人		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 26 年 4 月 25 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 4 班

代表者 野口 正

【主な質疑応答・意見等】

問 RDF 事業については、後7年もあるのに何で急ぐのか。金がかかるとか、政策の失敗の案件であり、市長の職務怠慢である。そして、何でゴミ処理の一元化を早期にと急ぐのか。他にも一元化すべきところがあるのではないのか。

答 RDF 事業は、県の失敗の事業で、当初は売電で収入があったとしていたが、現実には、処理経費がかかりすぎている。離脱による円満解決には、金銭が必要。RDF 事業はマイナス面が多い。円満解決をして、ゴミの一元化はさけて通れないので、急がれるべきである。

問 RDF 事業でのゴミ分別について、各集積所を自治会長、組長が見回りを行いボランティアで指導をしているが出来ていない現状でもあるのに、ゴミ処理一元化によりすべて松阪方式となると、出来るのか心配である。住民に対し、きめ細やかなこの説明をどうするのか。

答 RDF 事業からの離脱による一元化については、自治会としても大変であるが、行政においてきちんと解りやすくきめ細やかな説明対応をするように要請したい。リサイクルによる資源化についてもお願いしたい。

意見 本来ならば、旧飯南・旧飯高が決めたことであり、国の政策、県の政策に誤りがあったが、もう少し議論をしていただき、離脱問題を解決して欲しかった。

問 豪商のまちづくりと言われるが、飯南地域には関係の無いこと。伊勢本街道も崩れたところの修理でも金が無いといわれるので、旧長谷川邸・三井を含めた事業に何億とかけるのなら、飯南へも少しは予算をまわしてほしいがどうか。

答 豪商のまちづくりについては、旧長谷川邸の寄附を受けたので、地域の観光として取り組むものである。伊勢本街道については、行政側に意見のあったことを伝えたい。

問 駅前の活性化も良いが、飯南地区での最大の問題は、過疎化である。人口も世帯も減っているという深刻な過疎化問題について、どう認識しているのか。政策に光を当ててほしいがどうか。

答 過疎化については、旧松阪市の市街地でも人口減少が起きており、商店の売り上げも落ち込んでいる現実がある。今回、空き家の活用として空き家バンク制度を行うための予算を組んで活性化に向け取り組むようにしている。

問 空き家バンク活用補助金事業への取り組みは強力に進めてほしい。議会としても取り組みへの協力を頼みたいがどうか。

答 空き家バンク活用事業については、議会としても努力をしたい。

問 有害の獣害対策を強化してほしいがどうか。

答 1,335万円を予算計上し、イノシシ、鹿、猿等について、猟友会へお願いをしている。一頭当たりの金額も増額し、対応をしている。あまり成果が上がっていない現状があるようなので、行政側に伝えたい。

意見 獣害対策で減ってはいるものの、家庭菜園の被害が多い。網を張っての対応も厳しい。材料の支給により自分で張るにも過疎化が進む中難しい状況がある。議会においても検討をしていただきたい。

問 総合運動公園について議論をなされているが、使用料の積算根拠については、十分検討精査されたのか。

答 多目的グラウンド使用料は、人工芝の建設と維持管理から積算をしており、使用料としては良いと考える。

意見 飯南地区は金のかかる地域であるが、伊勢本街道は現在歩く方も増えており、現状を見ていただきたい。台風等によりひどい状況となることがある。歩く方が怪我をしないか心配でもある。議会でも取り上げていただき、地域のすみずみまで、目を向けて欲しい。

意見 自治会への回覧等配布手数料の中味については、自治会長として安否確認、ゴミ処理等ボランティアで活躍していることが多いので、そのことを兼ねての配布手数料として理解して継続をしてもらっている経緯も念頭においていただき、削減とまらないようお願いしたい。

問 債権回収対策準備室が設置されるが、回収が大変なのか、どれほどの債権があり、また組織として必要なのか

答 市税以外で、後期高齢者医療保険で946万円、介護保険料で5,490万2,000円、公共下水道受益者負担金で7,994万4,000円、保育園保育料で2,571万7,000円であり、取り組むものである。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 22 日（火）午後 7 時 00 分～9 時 15 分		
開催場所	宇気郷地区市民センター		
出席議員	水谷晴夫、松岡恒雄、野呂一男、中村良子、田中祐治、濱口高志、今井一久		
	司会進行者	野呂一男	
	報告者	今井一久、松岡恒雄、水谷晴夫、濱口高志、中村良子	
	記録者	松岡恒雄	
参加人数	8 名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 26 年 4 月 28 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 水 谷 晴 夫

【主な質疑応答・意見等】

- 問 空き家バンクの活用について、松阪市としてシステムが出来上がっているのか。
- 答 飯南・飯高の各振興局が中心となって空き家を調査し、賃貸の取り決めをし、登録を行う。借り手の方に対し工事費 50 万円を助成し、平成 26 年度からの新規事業であり行政としても模索している状態である。
- 問 飯南・飯高管内で空き家数は何件で、全戸数の何%の割合か。
- 答 飯南地区 110 戸、飯高地区 204 戸である。約 10%の割合。
- 問 飯南・飯高の方々には、過疎化に対する問題意識・危機感が切実にあるのか？
- 答 地域によって格差はあるが、波瀬地区などは高齢者が中心で、現実的にどの様に取り組むのかが課題となっている。
- 問 空き家バンクの活用の具体的な情報の発信は？
- 答 平成 26 年度からの新規事業で、飯南・飯高振興局中心に取り組んでおり、まだ緒に就いたところである。
- 問 過疎地に住む人の割合は全国平均 8%であるが、松阪市については何%か。
- 答 過疎地域と辺地地域指定の 2 種類があり、飯南・飯高地域は過疎地域指定で 1 万人を切るくらいで、約 5.8%である。
- 問 敬老会事業やまちづくりに対しての行政の地域への係わりに対し、有難く感謝の気持ちで一杯である。今後老朽化施設の維持は、どうなっているのか。
- 答 地域敬老事業などは住民協議会の対応の仕方について、地域で格差が出て来ている。老朽化施設については公共施設をどのようにしていくのかが問題であり、施設カルテ、施設白書を作成し施設の統廃合に取り組んでいく。
- 問 台風や大雨時の避難について、平野部と山間部での対応は、どうなっているのか。
- 答 災害時には生命の安全を最優先とし、山間部の方の意見を十分に配慮し取り組む。
- 問 高齢化・少子化で耕作放棄地が多いが、減反や耕作放棄地に対して免税出来ないか。
- 答 地方税法上のため、国との関連で難しい問題である。
- 問 4 月 1 日から施行の「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」を活用して、空き家や耕作放棄地の雑草などの草刈りや除去が出来ないか。

答 この条例は、たばこの吸い殻や空き缶のポイ捨て、犬の糞の放置の禁止、路上喫煙禁止区域での喫煙の禁止などを規定しており、この条例では難しい。荒地の草刈りで、中山間地域で所得補償されている他の地域もあり、今後集落全体で荒地を維持管理する為の補助金事業も実現されるのではないかと考えている。

問 井戸水中心の宇気郷地域において、自然林も減少し水の確保が問題となってくるが、水道事業に対して良い方法がないのか。

答 水道事業としては事業費もかかり負担金の問題もある。宇気郷地区全体として「水道を引こう」という話がまとまれば、市に要望を出し、議会にも相談をして頂き、進めることが可能である。

問 三重県の森林環境税があるが、山間地の間伐、山の整理に対しての補助金は。

答 今後、間伐事業に補助金を出せる方法を議会として考えていきたい。

問 鹿・イノシシの糞尿、生活排水、事業排水等で河川の汚染が進行しており、河川の浄化の取り組みは。また、市の環境調査の報告はどうなっているのか。

答 三重県全体として下水道事業が遅れており、松阪市、伊勢市などは特に遅い地域である。河川が何故汚れるのか、ありのままを公開し、どの様にしていくのか社会問題化していくことが大事であり、合併浄化槽補助金や生活排水プランの活用、松阪市直営浄化槽指定も可能かどうかも含めて対応を進めていくことが重要である。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 22 日（火）午後 7 時 00 分～8 時 20 分		
開催場所	第二公民館		
出席議員	植松泰之、中瀬古初美、山本節、大平勇、中島清晴、松田千代、久松倫生		
	司会進行者	久松倫生	
	報告者	植松泰之、中島清晴、松田千代、大平勇、久松倫生	
	記録者	大平勇	
参加人数	10 人		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中島清晴様

平成 26 年 4 月 25 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 2 班

代表者 山本 節

【主な質疑応答・意見等】

問 牛舎建設（下蛸路町地内）に議会は賛成なのか、反対なのか。また松阪市としてメリットがあれば議会は建設に向け地元を説得すべきではないか。

答 市長は地元の合意が大前提であると明言している。

林地開発の許認可は県であるが松阪市に意見を求めている。市は専門家等の意見を聞く環境保全審議会を開催した。今後は業者が下蛸路町に次いで南虹が丘町への地元説明をした後、第2回目の審議会を開催する予定である。なお、議会はしっかりと市民の声を聞いて対応していきたい。

問 債権回収対策準備事業費は45万円と少なく本気で回収意欲があるのか。未回収額は。

答 未回収額は約25億円。今年度は準備段階の予算である。対象は市税（市民、固定資産、国保）以外に後期高齢者医療保険料、介護保険料、公共下水道受益者負担金、保育料である。各課で対応しているが今後は一括処理する対策室になる予定である。

問 図書館改革推進事業費930万円とあるが、図書館の本、新聞は片寄らず中立（真ん中）になるようバランスをとるべきであるが、どうか。

答 今年度予算はワークショップ、図書館のリニューアル、経営等の予算が中心である。

問 卒業式で、君が代斉唱時、座っている議員がいると聞く。法律に定められているのに反対なら歌詞を提案したらどうか。

答 内心の問題と考える。強制でなく自由である。意見として受け止める。

問 議場に国旗及び市旗掲揚の提案があったが議長一任となった。今後どうするのか。

答 多種多様の意見を集約するのが議会であり、自分の意見を他人に押し付けるものではない。

問 松阪公園は犬のフンが多く、観光地として恥ずかしく市の担当課に言っても解決しないが、どうか。

答 「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」ができたので地元と協議をしていきたい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 22 日（火）午後 7 時 00 分～9 時 00 分	
開催場所	中原文化センター	
出席議員	海住恒幸、深田龍、堀端脩、川口保、大久保陽一、西村友志 前川幸敏	
	司会進行者	川口保
	報告者	大久保陽一、堀端脩、前川幸敏、深田龍
	記録者	堀端脩
参加人数	18 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島清晴様

平成 26 年 4 月 28 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 海住恒幸

【主な質疑応答・意見等】

問 総合運動公園の進捗率は79%と聞いているが、駐車スペースが狭いように思う。また、そのあたりについて議論にはならなかったのか。

答 その様な議論は出なかった。

問 総合運動公園で大きな行事が行われた場合大丈夫か。そうでないと、せっかく造ったのに使用が出来ないと言う事になってくるのではないか。

答 現在250台駐車できるが、周辺に新しく造ることを考えている。来年は、シティーマラソンなどの計画も考えている為、そのあたり急場は土のグラウンドを使用することもある。

問 債権回収対策事業費45万4千円について、その他未収債権があると思うが金額的にどれくらいあるのか。そして45万4千円という準備事業費をどの様な形で使用していくのか。

答 まず最初の金額についてですが、市税以外での強制執行権のあるものとして

- | | |
|---------------|-----------|
| ① 後期高齢者医療保険 | 946万円 |
| ② 介護保険料 | 5,490万2千円 |
| ③ 公共下水道受益者負担金 | 7,994万4千円 |
| ④ 保育園保育料 | 2,571万7千円 |

の合計金額約1億7千万円が平成24年度予算の未収となっている。なお付け加えると非強制徴収執行権（滞納処分が出来ない債権）には公立幼稚園の保育料、手数料、使用料、水道料金、公立病院の診療費等がある。

45万4千円についてはこの対策事業における諸々の経費となる。なお市税については県と市町で構成する回収機構で処理している。

問 最近避難所マップを各戸に配ってもらったが私が見る限りではあまりかわりばえのしないマップのような気がした。また、避難訓練等も元気な方ばかりで行っていて要援護者の対策がされていないと思うが、どうか。

答 避難訓練等について御心配をかけているようですが、4月には各個別に避難所マップが配布されたと思う。その中身についてはそれぞれの地域性があるので皆様方がその地図をどの様に活用されるのかという事もあるかと思うが、市としてはより充実したサポートが出来る様、この度4月より新たに危機管理室を立ち上げた。中身についてはこれからより充実をし、市民の皆様をサポートが出来るような体制を今進めているところで、議会においてもしっかりとチェックをすると共に市民の皆様様の安心安全を守っていきたい。

問 牛まつり事業費についてですが、これまでより 2,000 万円増となっているが、3,650 万円が一日の予算としては、多すぎるのではないか。

答 議会でも多額の予算と考え細かな事業計画書を求めていることから、事業計画書が出てきたうえでしっかりとチェックをしていきたい。なお、この予算の中にはベルファーム会場での通路改修費用 650 万円も含まれている。

問 議会報告会には前回に続いて参加をしたが、地元に関係した内容をお聞かせ願いたい。今のこの地域で一番興味があるのは防災である。自治会長をしているとよく住民から聞かれる話でもあるので、事前に地域の声を聞き取り、次回も参加したいと思うような内容にして頂きたいが、いかがか。

答 他の会場でもよく聞かれる事として受け止めて検討していきたい。ただ、予算・決算について議会より市民の皆様に伝える事が必須と考える。
今後各地域の個別のテーマについても考えていきたい。

問 住民協議会の事について質問する。

元気応援事業に参加される住民協議会が少ないのではないか。聞くところによると企業等からの協賛が、かなりあると聞いているが全地区の住民協議会にかなりの温度差が出ているのではないか。議会としてはどの様に受け止めているのか。

答 現状を調査しアンケート等にも取り組んでいきたい。また、それぞれの議員においても住民協議会との関わりを強く持っている者もいると思うのでそのあたりの声も重要視していきたい。

それぞれの地域の声を聴かせて頂くと、やはりこの地域で生まれ育った市職員が地域住民と一緒に住民協議会の運営を進める事が望まれている。まだまだ課題山積の中、議会も現場に出向いて対応していきたい。

問 行政人事の配置についてであります。この 4 月で振興局管内での職員が減ったのではないかと思っている。これまでの各振興局管内での行事においては職員の協力が不可欠であったと思っている。今後、一段と手薄になる事を住民は不安に思っているが、いかがか。

答 おっしゃる通り飯南・飯高管内では地域整備課が再編されたことで、その対応等について非常に危惧している。言われるように何とか人員を増やしてほしいのが正直なところである。地域に住んでいる議員としては今後地域振興局の充実の為に声を上げていきたい。

要望 議員の方々は今後各振興局に向けて実態を把握する意味でもしっかりと足を運んで頂きたい。

問 若い世代が地域で生活をしていく為の取り組みについて良い案があれば教えて頂きたい。山間地区で住むことが大好きだが未来の為に何をやっていく事が必要なのか。

答 若い人が地域活動に参加しにくい現状があるが、住民協議会に青年部をつくる環境づくりから考えていく事も一つの方法でもある。また、学生を巻き込むとか農林業での事業を通じて地域づくりや村づくりを言葉だけでなく進める事が大事である。

問 空き家バンク活用補助金事業は飯南・飯高管内だけですか。それとも全市対象ですか。

答 今は、飯南・飯高振興局管内だけであるが、今後については住宅課において考えると思うが、この事業を進める上では各地区住民協議会などがしっかり汗をかかないと広がらず、空き家状況を調べ入居したい方を募集するシステムが必要である。

現在、飯南地区で 110 戸、飯高地区では 204 戸の空き家がある。

問 予算としては、平成 26 年度飯南・飯高だけということか。

答 今回は飯南・飯高地区をモデルとしてスタートした。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 22 日（火）午後 7 時 00 分～8 時 50 分	
開催場所	港地区市民センター	
出席議員	野口正、沖和哉、坂口秀夫、山本芳敬、永作邦夫、松田俊助、田中力	
	司会進行者	松田俊助
	報告者	坂口秀夫、永作邦夫
	記録者	山本芳敬
参加人数	7 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 26 年 4 月 25 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 4 班

代表者 野口 正

【主な質疑応答・意見等】

問 下水道の管渠整備の受益者負担金の土地面積割りは不公平ではないか。

答 受益者負担金の設定時、土地面積割りと一戸割り、共に協議したが、全国の自治体を調査確認したところほとんどが面積割りであったことから、土地面積割りの受益者負担金を導入している。

問 中学校のICT教育は、三雲以外の全ての学校に整備されるのか。

答 三雲中学校のICT教育は、文部省・総務省の3年間のモデル事業として全額国費であった。本年度は全額市費となることから、新たな中学校2校を指定した。予算の問題が一番大きいですが、ICT教育自体のさらなる検証と、導入に対する教員、支援員等の問題もある。

問 阪内川の鎌田橋から下流は増水すると溢れてもおかしくない状態であるが、浚渫、川底、堤防の整備はどうなっているのか。また、河川敷に公園などの整備はできないのか。

答 整備は以前より県にお願いしている。また、阪内川の河川敷の公園整備は難しい。

問 企業誘致の状況は。

答 中核工業団地は全て埋まっているが、物流関係等の企業の進出の話も出てきている。

問 ふるさと納税（地元納税）など三井家にも頼めないのか。

答 三井家同族会との交流が良い関係で始まってきた。豪商のまちには、三井家関係は外すことは出来ない。観光振興面からも三井家同族会と慎重にまた、積極的に取り組んでいきたい。

意見 議会中継を見ていると、議員の質問に対し執行部の回答がかみ合わない時がある。議会も執行部も良く勉強していただき的確な答弁が出来るように努力してほしい。

意見 松ヶ崎小学校は全校生徒71名で、今年の新入生は9名。来年度は5名の予定で、このままだと1年・2年は複式学級になるしかない。第四小学校と港小学校は校区編成され港小学校は元気になった。松阪自動車学校付近の道路で校区が分かれている。

昔の町村の境が区割りになっているが、子供たちの教育、体育を考えると学校の区割り編成を教育委員会で検討していただきたい。

意見 松ヶ崎小学校の屋上避難所のフェンスの整備をしていただく予定であるが、学校が堤防の際に立っている。津波を想定すると海側のフェンスから津波が見え、大変な恐怖心をもつことが想定されるので、海側のフェンスには津波が見えない工夫を教育委員会で検討いただきたい。

意見 松阪漁協組合は、獵師港の堤防の海側に立っているので危険であるので今後考えていただきたい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 24 日（木）午後 7 時 00 分～9 時 10 分	
開催場所	櫛田地区市民センター	
出席議員	今井一久、水谷晴夫、田中祐治、中村良子、野呂一男、松岡恒雄、濱口高志	
	司会進行者	田中祐治
	報告者	今井一久、松岡恒雄、水谷晴夫、濱口高志、中村良子
	記録者	濱口高志
参加人数	32 人	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 26 年 4 月 25 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 水谷晴夫

【主な質疑応答・意見等】

問 手話条例ができたが、この報告会に手話通訳者を連れてきてはどうか。

答 まだ数人しか手話通訳者がいないため、大きなイベントしか連れていけない。
今年はろう者を職員採用した。この職員を中心に今後手話を充実させていく。

意見 通訳者の時給が低いため増えない。この対応も市で考えてほしい。

問 ごみ処理一元化に関して、飯南・飯高管内のごみ運搬委託費はなぜ必要なのか。

答 今は RDF 分担金の中に運搬費が入っている。

問 一元化した方が安くなるのか。

答 市では3億円ほど安くなると試算している。

問 空き家バンクの予算は、住めない家の取り壊し等に使えるのか。

答 これは、飯南・飯高の活性化のために、登録された空き家に住むために水回り等の改修費を補助するもので、取り壊しには使えない。

意見 兵庫県大野市にそういう制度があるので参考にしてほしい。

意見 この地区では総合運動公園は災害時の拠点として期待している。岩手県遠野市の取り組みを参考にしてほしい。トイレをもっと増設してほしい。また水洗の簡易トイレを接続できるようにしてほしい。ヘリポートも造ってほしい。大きな公園は犯罪が心配なので、その配慮もしてほしい。

問 牛舎建設はもう着工しているのか。

答 まだ着工していない。認可は県で行うが、住民説明会も一部しか行っておらず、環境審議会もまだ終わっていない。

問 競輪は業者が3,000万円の赤字とのことだが、市の負担はないのか。

答 競輪特別会計の中で事業を行っており、市の負担はない。

意見 三重県は県のバッジをつけている。松阪市も職員も含め市のバッジを作りつけた方がよい。

意見 行政チャンネルの画質が悪い。録画放送日は生放送から日経ち過ぎている。

問 まちづくり条例が2回否決されたが、住民協議会の条例はどうなっているのか。

答 議会は、住民協議会に特化した条例制定を市が制定するよう決議しており、市にボールがある。

意見 本庁の職員は人によって言うことが違う。もっと勉強してほしい。

問 高速船は今どうなっているのか。

答 津エアポートラインに委託している。委託費はかからないが、松阪港および空港の施設の維持費は市の負担である。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年4月24日(木)午後7時00分～8時47分	
開催場所	西黒部地区市民センター	
出席議員	山本 節、植松泰之、中瀬古初美、大平 勇、中島清晴、久松倫生、松田千代	
	司会進行者	久松倫生
	報告者	植松泰之、中瀬古初美、大平 勇、中島清晴、久松倫生
	記録者	中島清晴
参加人数	22名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成26年4月28日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会 第2班

代表者 山本 節

【主な質疑応答・意見等】

問 東海東南海地震が予想される中、市の防災予算はどのようなものか。

答 地域の要望も受け、当初予算で松ヶ崎・東黒部小学校の外付け避難階段、屋上フェンス等、また西黒部小学校のフェンス設置などがあげられている。新年度、危機管理室を置き、防災については予算も含めトータルにしっかり取り組んでいく。

問 他市では公有地を使って高さ9mの避難タワーを作るとのことだが、松阪では考えられていないのか。

答 現状では、避難タワーについては提案されていないが、議会としても検討していかねばならないという認識である。一時避難場所として西黒部小学校、東部カントリーエレベーターが指定されてはいるが、津波到達までは時間もあることから遠くへ逃げるというのを大前提に、地域で避難の体制を協議していかねばと考えている。

問 ハザードマップを次から次へと出してくる。どれが正しいのか。また防災無線は西黒部町に2箇所あるが、風向きで聞こえないところがある。追加で状況調査をすることであったが設置されなかった。海岸線沿いの整備を議会で議論されているのか。

答 県からの情報も逐次変化し、どういう状況下で起こるのかをそれぞれ想定している。東部管内では「防災ネットワーク」に取り組みされていることから、各地区協力をした中で避難訓練などを実施し、その機能を生かしていただきたい。

防災無線は、海辺で仕事をされている方の安全確保や、聞き取りにくい地域の把握に努め議会でも議論しているところである。

問 マグニチュード9で学校施設は大丈夫か。

答 耐震補強については、想定を超える異常な事態になればともかく、市内施設は基準内にある。これは真っ先に松阪市が取り組んだことで、耐震は100%完了している。

問 市では、学校の土曜授業を来年から実施と聞いている。遅れているのではないか。

答 議会のほうでも審議があった。本来の授業時間の設定という問題と、今の形でスタートさせるとなると準備期間がいるという説明であった。市の教育の方針として広い地域で平等に進めていこうとすると、授業内容や地域の方の関わりなど慎重に検討しているところである。来年4月に期待してほしい。

問 西黒部小学校全校生徒85名、東黒部小学校はその半分くらい、機殿小学校は50人。将来どうするのか。

答 統合や複式学級などの問題がある。学校など公共施設をなくすということは、その

地域にとって将来課題を残したり、議会でも地域での見通しなど大きな問題として捉えている。数字だけでどうこうするとはならない。

問 松阪市の図書館のレベルは、民間委託したことによって維持できるのか。

答 指定管理者ということで、運営は株図書館流通センターに委託している。経費の節約ができるかという点必ずしもそうではなかった。直営から指定管理で変わった部分もあるが、これから中身をどうするのかの検討を始めていく。本来の生涯学習施設としてのあり方の重要性から、教育委員会の責任を放棄するということにはならない。市長の市民との意見交換会等で皆さんから意見をいただきたい。

問 住民協議会が活動する中で、地区市民センターの扱いはどうなっていくのか。明確になっているのか。

答 松阪市行財政改革大綱アクションプランの中で市民センターをどうしていくのか議論されてきた。現在、確定した考え方は出ていない。西黒部でも存続していくのか、東部地区でもっと大きな拠点化構想の中でやっていったほうがいいのではないかなど、松阪市全体の中で機構改革を進めていかなければならない。防災も一自治会一住民協議会だけでは対応しきれない。議会も松阪市全体構想の中で議論をしていくことになる。

問 回覧板と一緒に広報を配布しているが、取らない人がいて余って戻ってくる。県政便りはなくなった。市の広報を読まずにいる人も全体では多いのではないか。

答 県政だよりのようになくしたらいいというのはなかなか難しい。自治会で配布することで手数料も入ってくるし、貴重な財源として運用しているところもある。読まないから排除しようということにはならないが、「広報まつさか」のあり方も今後検討していきたい。

問 債権回収対策は大きな課題である。45万4千円の対策費だが、いわゆる不良債権というのはどれくらいあるのか。

答 市税（市民税・固定資産税・国保税）は税務部収納課で対応している。市税の滞納額は約25億円、今回対象としている債権で約1億7千万円である。各課がバラバラではなく、一元化して債権を回収する対策室を新たに開設しようとするもので、今年度に準備室を立ち上げたということである。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 24 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 35 分	
開催場所	第一公民館	
出席議員	海住恒幸、西村友志、川口保、大久保陽一、堀端脩、前川幸敏、深田龍	
	司会進行者	西村友志
	報告者	海住恒幸、大久保陽一、堀端脩、前川幸敏 深田龍
	記録者	川口保
参加人数	16 人	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙に記入	

松阪市議会議長 中島清晴様

平成 26 年 4 月 28 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 海住 恒幸

【主な質疑応答・意見等】

問 潜在専門職トレーニングプロジェクト事業の職種は、なぜ看護師なのか。松阪市は看護師が足りないのか。来年も看護師なのか、保育士も不足していると思うが、どうか。

答 世間で人材が足りないのは、看護師や介護士で、地域の課題を解決していくために、試験的に看護師を選定させてもらった。初めての取り組みで、これがうまくいくかを見ながら、来年度については検討していく。

保育士に関しては、今後このプロジェクトが進んでいく中で、ご意見を参考にさせていただきます。

問 中町、本町の下水道について本管工事が終わっているが、個々の家との接続が進んでいないが、推進を働きかけてほしいが、どうか。

答 松阪市の接続率が低い。なぜ低いのかは分からないが、敷地が細長く、敷地の奥に水回りがある場合が多いので、裏側に流すよう決まったと聞いている。なるべく早く接続できるよう行政に働きかけていきたい。

問 接続費用が100%地元負担であるが、市も補助金や貸付金を出してほしいが、どうか。

答 高齢者や障害者には若干の補助金が出ている。

問 本町の一部や中町については、市の方へ下水道に取りかかるよう考えてもらわないといけないと言ってきた。表側に流すと500万円位かかり、新しい店舗にお金がかかっているので負担が大きい。特別に市の方に補助金を出すように言ってほしいが、どうか。

答 中心市街地の商店街の下水道工事が遅れているのは事実であり、費用負担が大きいと聞いている。どこまで補助金が出せるか市当局に確認したい。

問 市との話し合いの中で、裏の方で接続できないか確認の予算を取るという話しを聞いたが、その後の報告がないので確かめてほしいが、どうか。

答 私どももそのことは聞いていないので、下水道部に問い合わせせて連絡したい。

問 どの自治会長でも下水道には困っている。ご高齢などでできないのは分かるが、できるのにやらない家があり困っているが、どうか。

答 市としても戸別に廻って指導はしている。平等性の観点から市民の義務であり、松阪市公共下水道条例では原則1年の間にしなければならないという規定もあり、議会

としても働きかけていきたい。

問 最近節水トイレや、1人暮らしの家庭では水をあまり使わないので、下水道の管の長さが20m、30mになると途中で詰まる恐れがあるのでは。

答 専門的なことは答えられないが、工事の規格は決まっているので、それを順守すれば詰まらないと思う。その点も含めて市当局に確認したい。

問 住民協議会条例はどうなっているのか。

答 今のところ条例は無く、市当局は規則で運用している。規則は市長がつくり、条例は議会で作る。議会が認める点からも規則より条例の方が望ましい。市議会からは市長に対して条例をつくりなさいという議決をしているので、これからも条例ができるように努力していきたい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 4 月 24 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 50 分	
開催場所	大河内地区市民センター	
出席議員	野口正、田中力、松田俊助、永作邦夫、山本芳敬、坂口秀夫、 沖和哉	
	司会進行者	松田俊助
	報告者	坂口秀夫、沖和哉
	記録者	沖和哉
参加人数	14 人	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 26 年 4 月 28 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 4 班

代表者 野口 正

【主な質疑応答・意見等】

問 競輪事業について、収益が出たら折半で赤字は事業者ということだが、継続性のある契約なのか。たとえば、収益を低く決算するようなことは起こらないか。これまでの議会での経緯はどうであったのか。

答 現状、契約事業者との一括契約等により全体的な経費削減を進めている。全国でも屈指の売り上げと言われる川越場外販売場の存在や、ガールズ競輪等の話題性のある開催、様々なファンサービスイベントを実施し、競輪ファン・来客・売り上げ増を見込んでおり、平成26年度末での黒字化を目指している。

収支については、同じフロアで業務に取り組む市職員と事業者職員との信頼関係の中で、協働を進めており、不正の起きないよう監視力も発揮している。

平成24年11月議会において約4億6,000万円規模の一般会計からの繰り入れを否決し、本場開催を行わないサテライト化の検討等を行った後、平成26年1月に日本写真判定(株)との包括業務委託が提案され、今に至る。

問 市民病院が黒字化の予算編成とみえたが、歳入に関しての一般会計からの補填はあるのか。医師や看護師等の人件費も含めて黒字になるのか。また、繰り入れがある場合、その額を減らしていく計画等はあるのか。

答 一般会計より約9億600万円繰り入れを行った上での予算である。医師等職員もすべて含んでいる。繰り入れ額を減額していく計画については、現在検討中であるが具体的にはまだ進んでいない状況である。

問 総合運動公園の利用料について、市民の定義はどのようになっているのか。

答 松阪市に在住されている方や松阪市の企業・学校等に所属している方であり、身分証明書の提示を求める。サッカーチーム等の団体の場合は、コーチや監督が松阪市在住か主な選手が松阪市在住かどうかで判断する。

問 公共施設マネジメントについて、国や県の施設はどうするのか。

答 国は国、県は県の取り扱いとなる。市の施設で70%以上が建築されてから20年以上経過しており、早期に対応が必要である。国・県の施設については現在調整中である。

意見 市民の立場では、どの施設が国や市のものかわかりにくい。広報等を上手く進めてほしい。

問 議員定数問題について、市民から問われるから検討するのでなく、市議会として17万人都市としての必要な議員数は何人と考えているのか。

答 議員個々に様々な考え方があると思われ、人口、面積、様々な要因があり、一概には決めかねる。議会改革特別委員会において、協議をしている。

問 議長、副議長の任期は4年だと理解してるが、なぜ毎年交代しているのか。

答 各地方議会で異なるが松阪市議会では任期の定めがなく4年間可能であるが、申し合わせにより現状は1年で交代している。議会改革特別委員会等での検討も必要となるかもしれないが、現在は未定である。

意見 中心市街地活性化や「豪商のまち」の売り出し方について、魅力や発信力が弱いのではないか。特定のものだけでは1度松阪に来たら飽きてしまう恐れがある。射和地区が伊勢商人発祥の地であるらしいが、新しい売り出し方も検討してほしい。松阪牛も食べるだけでなく、牧場見学等も含めて発信を企画してほしい。